

# 一級河川北上川水系築川ダム建設工事説明会 質疑・応答について（要旨）

## 【質問 1】

今回、説明会を開催した理由は何か。

## 【回 答】

築川ダムにおいては、土地収用法第 16 条に規定する事業の認定を受けようとしています。そのために、土地収用法第 15 条の 14 の規定に基づき、今回の説明会を開催しています。

## 【質問 2】

用地買収の進捗率は約 90%ということだが、それは面積における進捗率か。出席している方は、私も含めて残りの 10%ということか。

## 【回 答】

面積における進捗率であります。

今回の説明会については、まだ用地のご契約をいただけていない方々に通知を差し上げているほか、新聞公告も行っています。

## 【質問 3】

ダムと河川改修の組み合わせが最も経済的であるという比較結果の説明があったが、ダムと河川改修まで 335 億円で実施できるということか。

## 【回 答】

治水、流水の正常な機能の維持（不特定用水の確保）、水道水の確保という 3 つの目的を持つ多目的ダムである築川ダムの全体事業費は 530 億円であります。

3 つの目的のうち、治水に限定して比較検討を行った場合には、ダムの費用（治水分）が 306 億円となり、ダムと河川改修（29 億円）を組み合わせた費用が 335 億円となるものです。

→事業費について

## 10. 事業費について

### 事業の進捗状況（単位：百万円）

全体事業費	平成19年度 まで	平成20年度	平成21年度 以降
53,000	24,332	1,530	27,138
進捗率	45.9%	2.9%	51.2%

完成予定 平成30年度を予定

→治水対策手法の比較検討

6-5. 治水対策手法の比較検討					
	ダム+河川改修案	河川改修単独案	放水路+河川改修案	宅地嵩上げ+河川改修案	
河道改修延長	(改修済 L=4.0km)	L=8.3km	L=10.6km (うち改修済=4.0km)	L=4.0km (うち改修済+嵩上げ改修 L=2.0km)	
総事業費	335億円	517億円	518億円	505億円	
用地補償	用地面積	ダム 約 110.0ha 河川 約 6.8ha	宅地 約 3.2ha 耕地 約 14.6ha 河川 約 6.8ha	宅地 約 0.5ha 耕地 約 14.6ha 河川 約 6.8ha	宅地 約 18.6ha 耕地 約 1.1ha 河川 約 6.8ha
	移転戸数	約 31戸 {ダム 31戸 河川 0戸}	約 116戸	約 23戸	一時移転 約 163戸 完全移転 約 57戸

※用地面積の「河川 約 6.8ha」は、河川改修済み区間の面積であり、買収済み。

総事業費が安価で、移転戸数の少ない  
**ダム+河川改修案** を採用しています。

治水対策手法検討におけるダムの費用の考え方



	単位:億円	治水	不特定	計
A	身替り建設費	425.00	322.00	
B	分攤費用	186.91	83.91	270.82
C	残余便益(A-B)	238.09	238.09	476.18
D	同上(%)	50.0	50.0	100.0
E	残余便益共同配分	119.04	119.05	238.09
F	持分合計	305.95	202.96	508.91